■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙　　：　８件
○対象とならなかった市長への手紙：１７件（匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容等のもの。）

■対象となった市長への手紙の回答（受付年月 ／ 令和７年10月分）
※対象となった市長への手紙のうち３件は、市の業務に関する内容ではないため下記に掲載しておりません。御了承下さい。

対応状況凡例：○＝手紙の内容に応じて対応済
△＝手紙の内容を検討中
×＝手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	手紙	島田のPRについて	私はR7.9.21に、元気まつりに行き、帰りのバスを待つ為、バス停にいました。この日は、丁度、まげまつりと、JR・さわやかウォーキングもあり、駅には、何人もの人達が、右住左住して、そのうちの１人・２人に、「この博物館は、どう行けば良い？」「このお寺は、歩くと、どれくらいある？」と、聞かれ、とっさに、スラスラ言葉が出てこなくて、ちょっとあいまいになってしまい…」 こういう時は、例えば「島田おもてなし隊」とかいて、さっとスムーズに答えられる人がいると良いと思いました。無人の観光案内もあるけど、ピンとこないのか聞かれ、２、３回、案内した事があります。何か良い方法は？と思いました。島田のアピールに。	この度は、市長への手紙をいただき、ありがとうございます。 お問い合わせ・御意見いただきました「島田のＰＲ」について、御回答いたします。 現在、島田駅前の無人観光案内所については、島田市の様々な観光マップやパンフレットを取り揃えているとともに、リモート案内システム「えんかくさん」により、TOURIST INFORMATION おおいなびスタッフによるオンラインでの観光案内が可能となっております。しかし、〇〇様からのご意見にもあるとおり、十分な観光案内ができているとは言い難いのが現状であります。 島田市は「観光で稼ぐ地域」を目指しており、そのためには来訪された方が市内の様々な観光資源を訪れ、かつ満足感を得てもらうことが重要です。しかし、市内にある観光資源は広い範囲に点在しており、ＪＲ東海道本線を利用して島田駅に来訪された方が事前情報なしにその観光資源を巡ることは、非常に難しいと認識しております。そういった時に重要な役目を担うのが島田駅前の観光案内所であることから、ここを効果的に活用していくことが、島田市の大きなアピールにつながると考えております。 現在島田駅前では、お茶が飲めるお店を期間限定で	△	観光課 (36-7399) 広報プロモーション課 (36-7355)

				設置し、緑茶やお茶を使った商品などの販売を行うとともに、市内イベントや観光スポット等の観光案内を行っています。 　こうした取組により、駅前観光案内所の効果的な活用方法を検討していく予定です。 　この度は、貴重な御意見をいただき、誠にありがとうございました。		
2	手紙	トイレの荷物を掛けるフックが届かない件について	・身長 157cm の私が届かないのはおかしい。 ・30 分待たされた挙く、「受理されました」の一言であるなら、ケイタイ電話でも良かったのでは？ 　喫茶店で時間潰し￥3340 かかったのに!!　わかりにくいわ。	この度は、市長への手紙を頂き、誠にありがとうございます。 　お問い合わせいただいた「トイレの荷物を掛けるフックが届かない件」に回答させていただきます。 　御指摘をいただいたトイレのフックは、扉が開いたとき壁に直接当たらないようにするための「戸当り」と言われる金具であり、上の長い部分がストッパーの役目をし、下のフックに帽子や上着をかけられるようにした兼用製品となっております。 　「戸当り」は、扉の構造上、上部にしか取り付けられず、背の高い扉では荷物を掛けられる位置にフックが来ないため、荷物棚を便座の後ろに設けた経緯があります。 　現在、利用者からの要望を受け、一部トイレの扉に荷物を掛けられるフックを設置しています。未対応の他のトイレの扉についても順次対応してまいります。 　次に、戸籍届出につきましては、届出者の身分の変動が発生する重要な事柄であるため、慎重に審査をする必要があります。また、審査の結果、追記や修正をしていただく場合もあることから、所要時間をお伝えしたうえで、市役所内でお待ちいただくか、外出された後に再度市役所にお越しいただくよう御案内をしております。 　今後とも正確かつ迅速に審査を行うことはもとより、丁寧な説明に努めてまいりますので、御理解いただきますようお願いいたします。 　この度は、貴重な御意見をいただきありがとうございました。	△	資産活用課 (36-7169) 市民課 (36-7194)

3	メール	防災について	ざぶとんのファイナルコンサートご苦労様でした 私は60代ですがここ数年 60年代のアメリカンフォークを聴き始め職場の同僚からざぶとんの存在を聴きコンサートに夫婦揃って出掛けました。 ふわっとした雰囲気のコンサートで素晴らしいコンサートでしたね 話しはかわりますが、今回は防災の話です 台風18号の影響で、島田でも線状降水帯が発生し金谷地区では洪水が発生し自宅の前の道は30cm水が冠水しました。他の場所でも発生していた様です 徐々に雨が弱まって　浸水は免れましたが住人にとって恐怖を感じました　市ではこの様な状況を把握されていますでしょうか 近年の雨の降り方は異常な所がありますが、市ではどのような考え方でどのような対処を考えてらっしゃるか教えていただきたいと思います また　ハザードマップは数十年前に各家庭に配られましたが田んぼが住宅地や工場が立ち状況は全然違っています　更新はされていると思いますが住人への啓蒙等配慮をお願いしたいです	台風第15号をはじめとする近年の豪雨や地震への備えに関し、貴重な御意見をありがとうございます。 近年は線状降水帯の発生など、短時間で非常に激しい雨が降るケースが増加しており、本市としても危機感を持って対応を進めています。 いただいた御質問・御意見について、次のとおり回答いたします。 １　台風第15号における市内の被害状況について 本市では、今回の台風第15号の際、市内各所において多数の浸水や冠水、側溝の溢れが発生したことを把握しております。 幸いにも人的被害はありませんでしたが、一時的に不安を感じる状況であったと認識しております。 また、被害の通報や水路の改修等に関する御要望も多数寄せられております。 今回の降雨は想定をはるかに超えるものであり、これまで水路等を設計する際に想定してきた降雨量を大きく上回るものでした。 このような状況を踏まえ、本市としては、施設整備（ハード対策）だけでなく、早めの避難など住民の皆さまの行動によるソフト対策の充実が極めて重要であると考えております。 今後も、ハード・ソフトの両面から総合的な防災対策の強化に取り組んでまいります。 ２　ハザードマップの考え方と更新について 本市が作成しているハザードマップは、外水（大井川など河川の水）が氾濫した場合の被害をシミュレーションし、想定される浸水範囲等を示したものです。 この想定は、河川の管理者である国や県が作成・更新する被害想定を基にしており、これらの想定が見直された際には、本市としてもハザードマップを更新し、公表してまいります。 今後も、住民の皆さまへの周知・啓発を通じて、防災意識の向上を図ってまいります。 ３　地震災害と自主防災活動の重要性について 地震災害における救助の主体については、阪神・淡	○	危機管理課 (36-7143)
4	メール	防災について	先日は水害について書かせていただきました 今回は、地震についてです。 大きな地震が発生した時、自助、公助、共助で人を助けられたのは公助が3割、共助が6割と聞きました。つまり地域を守るには自主防災の向上が必要があると思います。数年前と変わった事と言えばチェーンソーが常備されてはいますがソフト系が進んでいない様に思えます 現在、近所付き合いが希薄になっていますが、昔の古き良い時代ではありませんがお互いに協力し合える体制づくりの構築を整えるべきです いま、各組内で自分で非難出来ない方や子供などの把握をしていますが、どうするのかが明確かさされていません。個人情報と関わる部分がありますが、命がかかっているのにと思うのです。			

			以前書かせていただいたのは、例えば一人暮らしの世帯には各組で担当していただく方法です。 昔は、言ってはなんですがおせっかいな方がおられて組をまとめてくれていました。いまは、そういう方がおられなくなったので自主防災で穴埋めするということです。 長々と書きましたが、市としてどう進んでいくのかを教え下さい。 よろしくお願いします!	路大震災の際の内閣府資料によると、自助と共助による救助が約98%、公助（行政による救助）は約2%であったと報告されています。 　このことからも、御指摘のとおり、大規模災害時には自らの命を守る「自助」と、地域内で助け合う「共助」の取組が極めて重要であると考えています。 　今後は「ソフト面の充実」に向けて、自主防災組織や地域防災リーダーの育成、防災資機材の整備支援、避難行動要支援者（自力で避難が困難な方）の支援体制や地域での安否確認、情報共有の仕組みづくりなどを一層推進し、地域ぐるみで助け合える環境の整備を進めてまいります。 ４　要配慮者への支援体制について 　避難に時間を要する高齢者や障がいのある方などの「避難行動要支援者」については、地域での助け合いが重要です。 　本市では、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿を作成し情報の取扱いを定めております。 　災害時には、地域の皆さまの御協力を得ながら、要配慮者の避難支援を進めてまいります。 　今後も、行政による「公助」に加え、地域による「共助」を両輪として、市民の皆さまと協力しながら「災害に強いまちづくり」を進めてまいります。 　いただいた御意見は、今後の防災施策を検討する上での貴重な御意見として参考にさせていただきます。 　引き続き、本市の防災・減災対策に御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。		
5	手紙	大井川マラソンについて	昨日のしまだ大井川マラソンで何年かぶりに市役所スタートになりましたが、河川敷スタート・ゴールに戻していただけないでしょうか。 スタート前より音楽を鳴らし、開会式なるものを大音量で行い、騒音としか受け取れませんでした。 地方よりマラソンに参加される人に新しくなった市役所をおひろ目したい気持ちはわかるのですが、近くに住んでいる者には騒音であり、早く、終わって	このたびは、第17回「しまだ大井川マラソンinリバティ」に関する市長へのお手紙をいただき、誠にありがとうございます。 　今回、本大会の開催に際し、〇〇様をはじめ、コース周辺にお住まいの皆様には多大なご不便とご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。 　本大会は、市役所の建設工事期間中はスタート地点を変更しておりましたが、工事完了に伴い、今回より	×	観光課 (36-7163)

			欲しいと思うばかりでした。 来年からのマラソンは、河川敷スタート・ゴールを希望いたします。	本来のスタート地点である市役所前から再びスタートする形で開催いたしました。 市役所前のスタート地点については、第1回大会時よりランナーの安全確保、大会全体の円滑な運営など、さまざまな観点に基づき慎重に決定したものとなっており、現状では変更が難しい状況にございます。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。 また、近隣住民の皆様への影響を軽減するため、今後は騒音へのより一層の配慮など、可能な限りの改善策を講じてまいる所存です。 本大会は、島田市を国内外へ広く発信するとともに、市の認知度を高め、地域の活性化を図り、活力あるまちづくりを目指すことを目的として開催しております。 何卒、大会開催の趣旨をご理解いただきますとともに、今後ともご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。		